

SHOWA GAKUIN



昭和学院中学校・高等学校

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1 TEL 047-323-4171-5

http://www.showa-gkn.ed.jp/js FAX 047-326-5310

昭和学院 広報

第10号

2012.7.20(金)

皆で見上げた天体ショー 金環日食



当日は曇っていた。雲間に突如として出現した光のリング(金環)に、生徒たちは大歓声を上げた。生徒と教職員、現場には合わせて二百人以上いて、自然の織りなす奇跡の瞬間を共有した。

今回の日食は、5月21日(月曜日)であった。食の始まりは午前6時20分ごろ。金環日食は7時30分ごろから始まり、その状態が数分続いた。食が始まった頃は晴れており、日食メガネを使った観察ができた。しかし、次第に広がる雲に、見られないかもしれないという落胆の声も聞かれた。それだけに感動も大きくなった。昭和学院では、学校の正門脇から見る事ができた。

日食に合わせ、事前に理科の教員から基本的な情報と注意があった。肉眼で見るのは非常に危険なので、全員に日食メガネが配布された。また、当日の始業時間は繰り下げられた。学校での観測会も計画さ

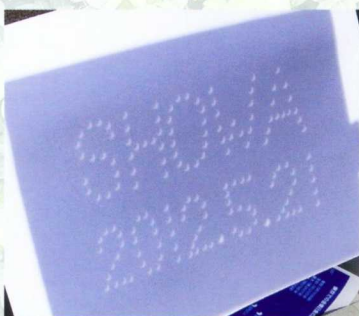
れ、当日は、理科の教職員で観測の指導にあたった。自然科学部では、日食グラスでの観察、ピンホールでの観察、木漏れ日の観察、単眼鏡を使

った太陽投影の観察を予定していた。木漏れ日の観察以外は成功した。その他の生徒や教職員も、自前のデジタルカメラや携帯電話のカメラで日食の様子を撮影していた。自然科学部部長の大岩君に今回の日食について話を聞いた。「太陽が三日月のように欠けてゆく様子は不思議で面白いものでした。天候のため、金環を見られないかもしれないという不安もあったので、雲の隙間から見られたときには我を忘れるくらい感動しました。今回部員で撮影したデータは文化祭で発表する予定です。今後も天体現象の観測を積極的に行っていきたいです。」

日食自体はまま見られる現象である。が、金環日食は25年前に沖縄で観測されたのが直近で、非常に珍しい現象だ。次は18年後に再び北海道で見られる。



◀日食メガネを通しての撮影(自然科学部 濱館君による)



▶ピンホールで観察された日食の様子

SHOWA GAKUIN

高校運動部 全国総体出場決定!「2012北信越かがやき総体」7月28日～新潟県ほかで開催

インターハイ出場をかけた予選会が各競技行われ、以下の運動部がインターハイへの出場を決めた。各部の部長に抱負を聞いた。

○ハンドボール部女子 (19年連続45回目・昨年度ベスト16)

麻生理香さん(3G)「今年は、チーム全員で一試合一試合を全力で戦い、春に行われた全国選抜のベスト16以上を目指して頑張ります。応援よろしくお願いします。」

6月に出場した関東大会では、狙っていた優勝を逃し準優勝となった。悔しさをまたバネに、全国での熱戦を繰り広げてほしい。



▲県の大会でシュート放つ桐生奈都美さん(3G)

○バスケットボール部女子 (6年連続46回目・昨年度ベスト32)

西澤瑠乃さん(3H)「日々の練習の成果を發揮できるように、チーム一丸となって一戦一戦、昭和学院らしいプレーで、全力で戦ってきたと思います。応援よろしくお願いします。」

県の大会では関東予選・新人戦ともに優勝したが、関東大会では2回戦敗退だった。更に力をつけ、全国の舞台で暴れてほしい。

○新体操部 (2年連続16回目・昨年度団体11位・個人優勝)

宍倉萌美さん(3G)「私たちは福井県で行われるインターハイに出場します。“真夏の情事”をテーマに昭和らしく、納得できる演技を堂々と踊ってきます。部員一丸となって頑張りますので、応援よろしくお願いします。」

○ソフトテニス部女子 (8年連続34回目・昨年度団体・個人出場)

木谷優美さん(3E)「団体戦と、個人戦で3ペアの出場が決まりました。私たちはいつも明るく、元気のあるチームです。インターハイでも私たちらしいプレーをして、上位入賞目指して頑張ります。応援よろしくお願いします。」

○体操部 (11年連続14回目・昨年度個人種目出場)

吉村美花さん(3F)「昨年は団体でのインターハイ出場を逃し、個人のみ出場でしたが、今年は団体での出場にこだわり、チーム一丸となって練習しています。インターハイでは最高の演技ができるよう、楽しみたいです。」

「チーム一丸」という言葉が示すように、全員の気持ちを一つにして、果敢に挑むことを期待したい。なお、水泳部は、7月24日から行われる関東大会において標準記録を突破した種目がインターハイへと進む。新人が豊富なチームとなったが、昨年度個人3位入賞に続く結果を目指し、頑張してほしい。

【開催情報】

- ハンドボール：7月28日～8月3日・新潟県上越市・リジョンプラザ上越ほか
- バスケットボール：7月28日～8月3日・石川県金沢市・いしかわ総合スポーツセンター
- 新体操：8月9～11日・福井県鯖江市・サンドーム福井
- ソフトテニス：8月7～10日・新潟県新潟市・市庭球場
- 体操：8月2～5日・福井県鯖江市・サンドーム福井
- 水泳：8月17～20日・新潟県長岡市・ダイエーブロビスフェニックスプール

中学運動部 目指せ!全国大会 注目の部活動紹介

中学の運動部は夏休みに全国大会の予選会が行われる。昨年度の結果も踏まえ、今年度注目の部活動を紹介したい。

○新体操部 (昨年度成績：全国中学団体第3位)

塩屋恵美子監督「今年はトッカータとフーガの曲に合わせたロープを使った団体です。曲の雰囲気やリズムを大切に、全員で心一つに演じ切りしたいと思います。全国大会では伝統を守るよう、昭和らしいノームスの演技をします。」

○水泳部 (昨年度成績：全国中学女子総合第6位、女子リレー第5位、個人200m個人メドレー女子第8位)

矢野敏彦監督「水泳競技は、県大会で標準記録を切った者が全国大会へ進みます。まずは男女揃っての出場を果たし、強化をしっかり行って、3年生を中心に個人・リレー種目ともに3位入賞以上を目指して頑張ります。」

○ソフトテニス部女子 (昨年度成績：全国中学団体ベスト16)

高原良江監督「3年生の底力と2年生の勢いが今年のチームの見所です。全中へは昨年と同じメンバーでリベンジしようと考えています。全員で力を合わせ、元気よくラケットを振り切って勝負し、優勝目指して頑張ります。」

○バスケットボール部女子 (昨年度成績：関東中学ベスト8)

一関智子監督「3月に行われた都道府県対抗ジュニアバスケット

ボール大会で準優勝したメンバーや、日本代表経験のある選手を中心に、昨年全国へ行けなかった分も、今年は全国へ行けるように頑張りたいと思います。」

【全国大会開催情報】

- 新体操：8月19～21日・東京都・町田市総合体育館
- ソフトテニス：8月17～19日・山梨県甲府市・小瀬スポーツ公園体育館
- 水泳：8月21～23日・栃木県小山市・県立温水プール館
- バスケットボール：8月21～24日・埼玉県さいたま市・さいたま市記念総合体育館ほか



▲市川・浦安市内大会男女総合優勝の水泳部

SHOWA GAKUIN

学校行事

スポーツ大会



6月4日(月)第5回スポーツ大会が国府台スポーツセンターで開催された。生徒たちは、天候に恵まれた良き青空の下、昨年と同様に赤、白、黄色の三色対抗戦でさまざまな競技を行い、力一杯走ったり競技したり、楽しい一日を過ごした。

競技種目は、今年度、「カゴをねええ」「三人四脚」そして、「応援合戦」が加わり競技のバリエーションに富むものとなった。

結果は、赤組が3年連続となる総合優勝を果たし、学級対抗リレーでは高校2年生が活躍、1位と3位に入賞する。そして、一番盛り上がった色別リレーでは大接戦の末に黄組が優勝した。

当日までの準備や、当日の進行に携わった生徒会長の安倍さんは「今年は生徒主体のスポーツ大会を目指し、準備の段階から、積極的に生徒の意見を取り入れました。その結果『応援合戦』が競技に加わり、高校3年生を中心に朝や放課後に応援の練習をして、活気のあるスポーツ大会ができました。これを来年度につなげていきたいです。」と語っていた。結果は以下の通りである。

【総合順位】

優勝赤組 2位黄組 3位白組

【色別対抗リレー】

優勝黄組 2位赤組 3位白組

【学級対抗リレー】

中学 優勝3の2 2位3の3
3位3の1
高校 優勝2F 2位3H
3位2H



高3 個別大学説明会開催

高校3年生は5月29日(火)の5限と6限を使ってメインアリーナを会場として58もの大学・短大・専門学校が集まりそれぞれのブースを作って盛大な個別進学説明会が開催された。

生徒たちはこの2時限で2つのブースを選択し教授や職員の方の説明を熱心に聞いたり質問をしたりしながら、これからの受験大学の決定に向けての良い機会になったことと思う。主な大学は次の通りである。國學院大学、順天堂大学、専修大学、玉川大学、千葉県保健医療大学、千葉工業大学、東京電機大学、東京農業大学、東邦大学、東洋大学、二松学舎大学、日本大学、武蔵野大学、他。専門学校は船橋情報ビジネス、日本デザイナー学院、大原学園、他。



メインアリーナで説明を聞く生徒たち

朝の読書

6月11日(月)からの2週間、読書週間として全校一斉朝の読書を実施した。朝自習の時間を使い、生徒それぞれが好きな本を選び、読書に耽る。読書好きな生徒はもちろん、これまであまり本を読む機会を持たなかった生徒にとっては、読書を始めるよい機会となった。今回生徒が選んだ本のジャンルとしては小説が一番多かったようだが、金曜日食の影響か、自然科学に関するものも多く見られた。そのほか歴史を題材としたもの、ノンフィクション等も好まれた。電子書籍も広まる現在、1ページずつめくる紙の重みとゆかしさを味わってほしいと思う。また、昭和の100冊『読書の旅、羅針盤』も今後の読書の「指針」としてほしい。



英検・スピーチコンテスト

6月19日に全校で、第1回実用英語技能検定を実施した。本年度は土曜日に実施したため、例年よりも部活出張と重なり受験できない生徒も多くいた。級別の受験数は、2級91名、準2級279名、3級515名、4級257名、5級67名である。3級以上には、1次試験合格者対象の2次試験が実施されるが、より多くの生徒が2次試験まで駒を進めてもらいたい。6月26日、本来は22日に実施予定であった校内英語スピーチコンテストが行われた。どの生徒も限られた時間の中で努力したあとがみられたが、特に中学一年生の発表は素晴らしいものであった。もうひといきという生徒も多く、来年度はさらに磨きをかけ挑戦してほしい。



校内美術展

6月29日～7月5日まで、生徒ギャラリーにて校内美術展が行われた。

本年はどのクラスも「自分たちらしさ」を良く考え、思いを込めた作品が多く出展され、作品を楽しそうに見る生徒で会場が華やき、見る者を楽しませてくれた。



SHOWA GAKUIN

校外教育

中1

成田ゆめ牧場



美味しいカレーをいただきます！

中学1年生137名は、5月28日(月)午前8時に成田ゆめ牧場へ出発した。バスの中、ウキウキした皆の表情がとても印象的だった。到着後、1組佐藤君の挨拶で、カレー作りが始まった。かまどの火つけや野菜を切る作業に苦労しながらも皆協力して取り組んだ。強風で、立ち込める煙に四苦八苦したが美味しいカレーを食べることが出来た。その後、芝滑りや動物との触れあい、美味しいソフトクリームを堪能した。帰る車中、雷と雹と大粒の雨に見舞われたが、学校到着時には天気も回復、元気に帰宅の途へつき、クラスの和と絆が深まった有意義な校外教育となった。

中2

富士五湖

5月27日天候にも恵まれ、生徒の期待も膨らむ中、1泊2日の校外教育に向けて、両国駅を出発した。最初に訪れた「森と湖の楽園」では、まず「ほうとう作り」に挑戦した。火おこしに苦戦しながらも、役割分担をして取り組んでいた。その後、チーム対抗の「国明アドベンチャーゲーム」では、広大な敷地を夢中になって駆け巡っていた。ユニークなゲームに生徒たちも笑顔がこぼれ、あっという間に時間が過ぎていった。翌日は、4つのコースに分かれ、自然を満喫しながら有意義な時間を過ごしていた。「富士サファリパーク」に到着してすぐ、雨が降ってきてしまい残念だったが、入学して初めての宿泊訓練でクラスメートとの親睦もさらにこの2日間で深まったようだ。



手作りのほうとうを食べる生徒たち

中3

京都・奈良



清水産寧坂(三年坂)にて

5月27日(日)から29日(火)にかけて、京都・奈良方面の校外教育が実施された。約半年間準備してきた生徒主体の校外教育。いよいよ本番を迎える1日目の朝は、生徒も教員も緊張した面持ちで東京駅に集合した。法隆寺、東大寺大仏殿・二月堂の見学後、奈良公園の鹿と戯れて宿へ。翌日は旧クラスでの班別行動。それぞれのテーマに基づき事前に計画した見学場所を現地のガイドさんと回った。最終日は万緑の東福寺で心洗われる時を過ごし、清水寺を見学。思いもかけない突然の雷雨の後、一転快晴のもと買い物を楽しみ帰京。大変充実した3日間であった。

高1

フレッシュマンキャンプ

4月14日から16日、フレッシュマンキャンプが山梨県西湖湖畔で行われた。「規律ある生活態度を養い、相互理解を深める」ことを目標とし、初日は開校式に続き生徒指導部長、進路指導部長からお話をいただき、集会では校歌の練習、夕食後は学級活動でクラスの交流を図った。2日目は各クラスにガイドがつき青木ヶ原の樹海を散策、雄大な富士山を眺めいい汗をかいた。帰着後の学級活動ではクラス目標を決め、集会でクラス代表が堂々と発表した。最終日は、井上校長先生の講話をいただき「新生昭和」を強く意識して全ての企画が終了。目標はほぼ達成、生徒は貴重な経験と思い出ができた。



井上校長先生の講話を真剣に聞く生徒達

SHOWA GAKUIN

奨学会だより

平成24年度 奨学会理事会・総会開催

平成24年度の本院中高奨学会理事会並びに総会が、多数の会員の出席を得て5月19日(土)午後2時から、本校会議室で行われた。まず、八田会長より開会の挨拶があり、続いて井上中高校長より今年度は入学者が増加し、本校の教育に対する社会の要請を感じるとともに、益々教育の充実を図りたい旨の話があった。その後、理事会に引き続き同じ会場で、奨学会総会が行われた。冒頭に八田会長から、まず子供たちが充実した学校生活を送れること、そして何よりも災害時などに対して安全な学校であってほしい旨の話があった。続いて議事へと移り、まず各部による昨年度の事業報告があった。次に昨年度の決算報告、そして監査報告があり、その後役員改選に入り、理事会案が発表され承認が得られた。そして平成24年度事業計画案、予算案、平成23年度奨学会役員表彰案等、満場一致で承認された。

平成24年度 新役員決定



新役員紹介

本年度の奨学会新役員の方々を、紹介させていただきます。

- ・会長 八田 吉浩 (2-C)
- ・副会長 佐藤 聡子 (3-B) 山崎 憲一 (1-3)
- ・会計 鈴木千鶴子 (3-C) 川本 晴美 (2-J)
- ・会計監査 麻生由希江 (3-G) 白石 礼子 (3-3)
- ・総務部長 池田 寛子 (1-J)
- ・学習施設部長 松葉瀬誠子 (1-A)
- ・文化教養部長 皆川 順子 (3-1)
- ・厚生補導部長 青木美砂子 (2-A)
- ・行事推進部長 安倍いづみ (3-A)
- ・母姉部長 填下 小弓 (3-D)

学年代表

- ・高3 (正) 高橋 祐子 (3-A) (副) 山崎 美智子 (3-F)
- ・高2 (正) 木村 陽子 (2-A) (副) 齋藤 真由美 (2-D)
- ・高1 (正) 宮崎由美子 (1-A) (副) 室岡 孝子 (1-D)
- ・中3 越 昌恵 (3-5)
- ・中2 中村希美代 (2-2)
- ・中1 生貝 友紀 (1の1)



奨学会 会長挨拶

平成24年5月19日に開催されました昭和学院中学校・高等学校奨学会定期総会におきまして、23年度に引き続き会長のご承認を頂きました高校二年の長男と中学三年の娘(双子)の3人が、お世話になっております八田吉浩と申します。どうぞよろしくお願いいたします。



昨年度は、右も左も判らない状況の中で会長職でしたが、無事に23年度を務めることができました。これも偏に理事長様、校長先生をはじめとする先生方、副会長をはじめとする常任理事の諸先輩方のご指導ご鞭撻を頂きましたこと、また保護者の皆様のご支援ご協力があったればこそと、この場をお借りしまして皆様にお礼申し上げます。

今年度、私が奨学会会長として活動していくにあたり次のような目標を掲げました。

- 一、奨学会は学校に通う全生徒のために
- 一、奨学会は学校の最強の応援団に
- 一、奨学会は会員相互の親睦のために

この3つの目標を基に奨学会が今年度取り組む事業として、会員相互の親睦のためのバス研修旅行、文化祭の参加協力、広報誌の作成、生徒の健全育成のための校外指導、各部活動への支援などを計画しております。是非とも保護者の皆様におかれましては、各クラスから選出された役員だけの奨学会ではございませんので、各事業の案内がお手元に届きましたら、事業内容をご確認頂き多くの事業にご参加頂きますようお願いいたします。

最後になりますが、昨年度に引き続き、昭和学院中学校・高等学校及び奨学会発展のため真摯な気持ちでひたむきに活動していく所存でございますので、皆様のご支援ご協力を願いし、本年度最初のあいさつとさせていただきます。1年間よろしくお願いいたします。

奨学会役員懇親会

平成24年度の奨学会役員新年懇親会が、6月2日(土)市川グランドホテルで開催された。当日は、山本理事長をはじめ、校長先生、各部担当の先生方、そして参事の方々など大勢の方が出席され、盛会となった。



SHOWA GAKUIN

平成25年度入試 中学校・高等学校 生徒募集始まる



平成25年度入試に向けて、中学校・高等学校の募集要項が下記のように確定した。募集活動も「2012私立中学・高校進学相談会」(上野松坂屋)から始まり、市川・浦安地区私立中学七校合同説明会などすでに4つのイベントに参加している。どの会場も多くの保護者・生徒・児童の熱気に含まれ、本学院のブースにも進学相談の順番待ちが続いた。新校舎という恵まれた環境で学校生活が送れること、また近年の進学成績向上(下記参考)も関心を集める要因となっているようだ。尚、8月以降学外では「首都圏進学フェア2012 in 千葉」「2012千葉県県学フェア」など10のイベントに参加予定だ。また、本学院主催で「学習塾等進学懇談会」「公立中学校保護者対象学校見学会」等も実施し多くの方が見学に訪れている。今後学内では下記の日程で進学相談会を予定しており、多くの受験生の参加を期待している。

〈平成23年度卒業生おもな合格大学一覧〉

- 【国立大学】筑波大学 茨城大学
 【私立大学】早稲田 上智 学習院 明治 青山 立教 法政 日本女子 獨協
 東京女子 國學院 明治学院 成蹊 昭和薬大 東京農大 北里 創価
 二松学舎 杏林 東邦 日大 東洋 駒沢 専修 etc

平成25年度 入試要項

中学校	第1回(第1志望入試)	第2回(一般入試)	第3回(一般入試)	第4回(一般入試)
募集人数	(男女)60名	(男女)30名	(男女)20名	(男女)10名
窓口出願期日	平成24年11月21日(水)~11月29日(木)	平成25年1月10日(木)~1月17日(木)	平成25年1月18日(金)~1月24日(木)	平成25年1月28日(月)~2月6日(水)
入試日時	12月1日(土)午前8時30分	1月20日(日)午前8時30分	1月25日(金)午前8時30分	2月7日(木)午前8時30分
入試科目	①2科 国語・算数 各50分 4科 国語・算数 各50分 社会・理科 各30分 ②個人面接(受験生のみ 2分程度) 帰国子女入試(若干名)	①4科 国語・算数 各50分 社会・理科 各30分 ②個人面接(受験生のみ 2分程度)	①4科 国語・算数 各50分 社会・理科 各30分 ②個人面接(受験生のみ 2分程度)	①2科 国語・算数 各50分 ②個人面接(受験生のみ 2分程度)
合格発表	12月2日(日) 午前10時	1月21日(月) 午前10時	1月26日(土) 午前10時	2月8日(金)午前10時
入学手続	12月3日(月)・4日(火) 5日(水)・6日(木)	1月21日(月)・22日(火) 23日(水)・24日(木)	1月28日(月)・29日(火) 30日(水)・31日(木)	2月8日(金)・9日(土) 12日(火)・13日(水)

高等学校	前期選抜試験				後期選抜試験	
募集人数	(男女)160名				(男女)20名	
窓口出願期日	平成25年1月4日(金)~1月11日(金)				平成25年1月26日(土)~1月31日(木)	
入試	A推薦	B推薦	C推薦	特進(特待生)入試	一般入試	
志望	第1志望	第2志望	第1志望	問わない	第1志望	問わない
入試日時	1月17日(木)午前9時	1月17日(木)又は 1月18日(金) 両日とも午前9時	1月17日(木)午前9時	1月18日(金)午前9時	2月5日(火) 午前9時	
入試科目	面接(個人)	①「英・数」又は「英・国」 1科目(40分) 英語リスニングテストなし ②面接(個人)	①一般常識試験(40分) ②面接(個人)	①「英・数・国」 1科目(50分) 英語リスニングテストあり ②面接(個人)	①「英・数」又は「英・国」 1科目(40分) 英語リスニングテストなし ②面接(個人)	①「英・数・国」 1科目(50分) 英語リスニングテストあり ②面接(個人)
合格発表	1月18日(金)午前10時	1月18日(金)又は 1月19日(土) 両日とも午前10時	1月18日(金)午前10時	1月19日(土)午前10時	2月6日(水)午前10時	
入学手続	平成25年1月18日(金)~1月24日(木)				平成25年2月6日(水)~2月9日(土)	

オープンスクール	中学校	10:00~12:00	① 7/28(土)	② 7/29(日)	③ 8/ 4(土)	④ 8/18(土)	⑤ 8/26(日)
	高等学校	13:00~15:00					
学校説明会	中学校	14:00~16:00	① 9/15(土)	②10/13(土)	③10/20(土)	④11/10(土)	⑤12/15(土)
	高等学校	10:00~12:00	①10/13(土)	②10/20(土)	③11/10(土)	④11/24(土)	⑤12/ 8(土)